

表-6.9.2(4) 重要な動物種の確認状況 (その4)

++:2~10個体未満 +++:10~100個体未満 ++++:100個体以上

No.	種	全個体数	改変区域内での確認個体数				小計	消失による生息個体の消失について
			空港施設予定地	航空障害灯予定地	VOR/DME予定地			
27	リュウキュウコノハズク	128	41	4	0	45	消失なし (移動能力が高い)	ゴルフ場内、その周辺の二次林及び耕作地、ゴルフ場東側の海岸林及び植林、水岳一帯、カタフタ山、タキ山及びタキ山東の北側～北東側斜面、キツツングスクの林縁部、轟川中流北側河畔の山地林、轟川中流南側の山地林等で128個体が確認された。このうち、改変区域内では、空港施設予定地のゴルフ場内及びその周辺の二次林で41個体、また、航空障害灯予定地の水岳及びカタフタ山山頂部で4個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域に近接するゴルフ場残地及び改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外のゴルフ場内、その周辺の二次林及び耕作地、ゴルフ場東側の海岸林及び植林、水岳一帯、カタフタ山、タキ山及びタキ山東の北側～北東側斜面、キツツングスクの林縁部、轟川中流北側河畔の山地林、轟川中流南側の山地林等で確認された83個体についても、造成による消失はない。
28	カワセミ	2	0	0	0	0	消失なし	採石場南東側の海岸及び轟川の河口上空で2個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
29	リュウキュウサシショウクイ	2	0	1	0	1	消失なし (移動能力が高い)	水岳北側斜面及び水岳北側の耕作地で2個体が確認された。このうち、改変区域内では、航空障害灯予定地の水岳北側斜面で1個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外の水岳北側の耕作地で確認された1個体についても、造成による消失はない。
30	アカモス	1	0	0	0	0	消失なし	轟川中流南側の二次林で1個体が確認されたが、改変区域には含まれていないことから、造成による消失はない。
31	アカヒゲ	1	0	1	0	1	消失なし (移動能力が高い)	改変区域内の航空障害灯予定地の水岳山頂部で1個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。
32	ヤエヤマシロガシラ	152	55 (うち飛翔個体1)	0	0	55 (うち飛翔個体1)	消失なし (移動能力が高い)	ゴルフ場内、ゴルフ場上空、その周辺の二次林、耕作地及び牧草地、カタフタ山及びタキ山周辺の耕作地、湿地及びその上空、カラ岳周辺の放牧地、路傍・休耕地、轟川上流周辺の水田、轟川中流南側の耕作地及び牧草地等で152個体が確認された。このうち、改変区域内では、空港施設予定地のゴルフ場内、その周辺の二次林、耕作地及び牧草地で54個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域に近接するゴルフ場残地及び改変区域周辺に移動可能な樹林地、耕作地及び牧草地等が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。なお、ゴルフ場上空で確認された1個体については飛翔個体のため、造成による消失はない。また、改変区域外のゴルフ場内、その周辺の二次林、耕作地及び牧草地、カタフタ山及びタキ山周辺の耕作地、湿地及びその上空、カラ岳周辺の放牧地、路傍・休耕地、轟川上流周辺の水田、轟川中流南側の耕作地及び牧草地等で確認された97個体についても、造成による消失はない。
33	リュウキュウキビタキ	17	4	1	0	5	消失なし (移動能力が高い)	ゴルフ場内及びその周辺の二次林、水岳北側及び西側斜面、カタフタ山山頂部、北東側及び西側斜面、タキ山東北側斜面等で17個体が確認された。このうち、改変区域内では、空港施設予定地のゴルフ場内及びその周辺の二次林で4個体、また、航空障害灯予定地のカタフタ山山頂部で1個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域に近接するゴルフ場残地及び改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。また、改変区域外の水岳北側及び西側斜面、カタフタ山山頂部、東側及び西側斜面、タキ山東北側斜面等で確認された12個体についても、造成による消失はない。
34	イシガキシショウカラ	247	72 (うち飛翔個体2)	15	0	87 (うち飛翔個体2)	消失なし (移動能力が高い)	ゴルフ場内、その周辺の二次林、耕作地、牧草地及びその上空、ゴルフ場東側の植林、水岳山頂部、南東側及び北側斜面、カタフタ山山頂部及び北西側林縁部、タキ山東北側斜面、タキ山東及びキツツングスク山頂部、轟川中流北側河畔の山地林、轟川中流南側の山地林及び二次林等で247個体が確認された。このうち、改変区域内では、空港施設予定地のゴルフ場内、その周辺の二次林、耕作地及び牧草地で70個体、また、航空障害灯予定地の水岳山頂部、カタフタ山北西側林縁部及びタキ山東山頂部で15個体が確認されたが、飛翔による移動能力が高く、改変区域に近接するゴルフ場残地及び改変区域周辺に移動可能な樹林地が存在するため、造成による消失はないものと考えられる。なお、改変区域内のゴルフ場及びその周辺上空で確認された2個体については、飛翔個体のため、造成による消失はない。また、改変区域外のゴルフ場内、その周辺の二次林、耕作地、牧草地及びその上空、ゴルフ場東側の植林、水岳山頂部、南東側及び北側斜面、カタフタ山山頂部及び北西側林縁部、タキ山東北側斜面、タキ山東及びキツツングスク山頂部、轟川中流北側河畔の山地林、轟川中流南側の山地林及び二次林等で確認された160個体についても、造成による消失はない。